第3種 様似漁港
（北海道様似町）

様似地域マリンビジョン策定（推進地域）

様似（さまに）地区特定漁港漁場整備事業計画

日高中部圏域
流通拠点

現状と課題

・野天での陸揚げにより鳥糞や羽毛などの異物混入、直射日光や降雪雨による鮮度低下等の衛生管理対策に課題が生じている。
・大規模災害発生時における水産業の早期再開を可能とする岸壁、輸送経路等の確保が課題となっている。
・係留施設の不足により、滞船や多層係留による作業効率の低下が問題となっている。

港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：67隻
利用漁船：92隻
（内、外来漁船：32隻）
属地陸揚量：1，610トン
属地陸揚金額：4．6億円
主な魚種：スケトウダラ、マダラ
組合員数：61人

◎様似漁港の役割

・スケトウダラを対象とした沖合底びき網漁業、サケ定置網等の沿岸漁業の流通拠点
・周辺海域で操業する道内外のイカ釣り漁船の陸揚げ基地

主　要　対　策

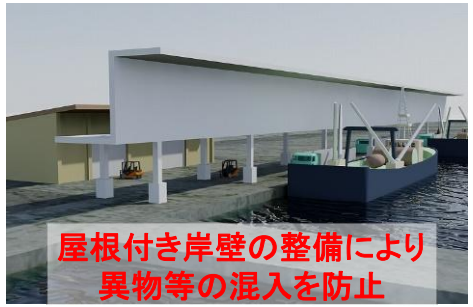
主な整備方針

・直射日等による鮮度低下や異物混入を防ぎ、安全・安心な水産物を供給するため屋根付き岸壁の整備を行う。
・大規模な地震・津波災害が発した後においても水産業の継続・早期再開が可能となるよう、岸壁の耐震性能強化や輸送経路の液状化対策を実施する。
・係留施設を整備し、陸揚げ・準備作業を分離することにより漁港内の混雑解消を図る。
・陸揚げ・準備作業を分離し、漁港内の混雑解消を図るため、係留施設を整備する。

基本事項

全体事業費：78．0億円
事業期間：H27～R11

主要な対策①：衛生管理対策



主要な対策②：防災対策